

アフターサービスのご提供について【重要】

本機のアフターサービスは、修理は行わず無償または有償での新品交換にて対応させていただきます。

尚、アフターサービスを希望の際、ご購入時の販売店の領収書控えのご提示が必要となりますので、大切に保管してください。

保証期間はご購入時より1年間となります。

保証期間	保証対象の故障	保証対象外の故障	
		アフターサービス対象	アフターサービス対象外
保証期間内	無償新品交換	有償新品交換	サービスの提供はありません
保証期間外	—	有償新品交換	サービスの提供はありません

1. 正常な使用状態(取扱説明書の注意書きに従った使用状態)で故障した場合には、弊社規則に従い、アフターサービスの対象とさせていただきます。

※詳しくはフリーダイヤルまでお問い合わせください。

2. 故障等でアフターサービスの提供をご希望の場合は、お買上の販売店にお持ちいただくかフリーダイヤルまでご連絡ください。

3. サービスの依頼品は故障内容等の評価後、提供されるサービスをお客様にご連絡致します。内容によっては保証期間内外を問わず、サービスを受けられない場合がありますのでご了承願います。

※保証期間内、保証対象の故障でも次の場合は有償またはサービス対象外となります。

- 購入時の領収書のご提示をいただけない場合。
- 購入時の領収書に販売店名・日付の記載が無い場合や、ご購入先の訂正印無しに内容が書き換えられている場合。
- 使用上・管理上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造などによる故障または損傷の場合。
- ご購入後の輸送、落下などによる故障および損傷。
- 火災、地震、風水害、その他天変地異や公害、煙害、異常電圧などによる故障および損傷。
- 故障以外の点検などといったご要望。

ご購入時の領収書に年月日の記載がない場合は、製品の製造年月日に3ヶ月を加算した月の1日を保証期間開始とさせていただきます。

この保証は日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY IS VALID IN JAPAN)

※この内容は上記に明示した期間・条件に基づき、アフターサービスのご提供をお約束するものです。

サービスの内容など、ご不明な点がございましたらお気軽にフリーダイヤルまでお問い合わせください。

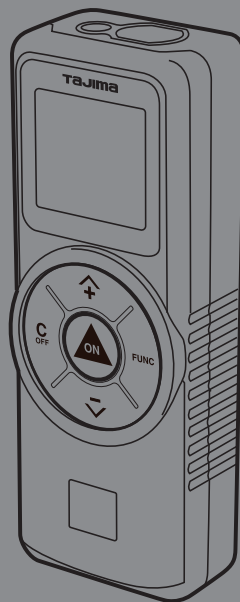
Tajima

G05

レーザー距離計 タジマG05

品番：LKT-G05BK

取扱説明書



製品ご購入の際の領収書を大切に保管してください

アフターサービス依頼時にご購入販売店様名・日付の記載された領収書を提出してください。保証書の代わりとして確認させていただきます。



タジマレーザーG05は

消費生活用製品安全法に基づき、経済産業省への届け出を行い、技術適合義務を果たした製品です。

お買い上げいただき、ありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
本製品の性能をご理解の上で、適切な取扱いと保守をしていただくようお願い致します。
お読みになった後、この取扱説明書は必ず保管してください。

付属品

- ・収納ケース
- ・ストラップ
- ・単4形アルカリ乾電池2本(動作確認用)

■各種お問い合わせはこちらまで

0120-125577

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00
(12:00～13:00/祝日/弊社指定休日を除く)

株式会社TJMデザイン 第1版

本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3
www.tajimatool.co.jp

目次

■目次	02
■レーザー距離計はこんな時に便利！	03
■本機を正しくお使いいただくために	04
■安全上のご注意	05
■使用上のご注意	06
■お手入れ・保管について	06
■精度確認方法	07
■免責事項	07
■各部名称	08
■はじめに	09
・電池の入れ方	09
・電源のON/OFF	09
・電池残量について	09
■設定	10
・測定基準	10
・測定単位	10
・操作音	11
・回転ディスプレイ	11
■測定	12
・距離測定（単回）	12
・連続測定	12
・最大/最小（max/min）	13
・クリア（消去）	13
■機能	14
・加算/減算	14
・面積	14
・体積	15
・ピタゴラス機能	16
・ピタゴラス1	16
・ピタゴラス2	16
・ステイクアウト（ピッチ測定）機能	17
・タイマー	17
・測定値自動記憶	18
■仕様	19
■こんなときは	20
■Memo	22
■アフターサービスのご提供について【重要】	24

レーザー距離計はこんな時に便利！



警告

 このアイコンが点滅している時は、レーザー光が照射されています。

- レーザー光を直接のぞかないでください。
- レーザー光を他の人に向けしないでください。
レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。

オフィスなどの
改装工事に!!



オフィスや部屋の改装工事など、タジマ G05 を使えば簡単に・素早く・正確に距離が測定できます。家具や机、間仕切りなどを避けて測定ができ、測定箇所を傷つける心配もありません。





建築現場の
測定に!!



高い天井までの距離や、今まで2人がかりで測定していた長い距離の測定も、1人で素早く・安全に行うことができます。見積もり出しの時間なども大幅に短縮できます。

本機を正しくお使いいただくために

表示の説明

 警告	誤った取扱いをすると、「人が死亡または障害を負う可能性があること」を示します。
 注意	誤った取扱いをすると、「人が障害を負う可能性、および物的損害のみが発生する可能性があること」を示します。
絵表示について	 してはいけないことを示す「禁止」です。  必ず実行していただくことを示す「強制」です。

レーザー距離計タジマG05のご使用に際して

使用用途 本機が使用できる用途は①距離の測定 ②計算機能(面積、体積、ピタグラスなど)に限定されます。

使用の制限 ⇒「仕様」を参照してください。
 本機は人が通常に活動できる環境での使用に適しており、過酷な環境や爆発の危険がある環境では使用しないでください。

レーザークラス 本機は、可視レーザービームを機器前面から照射します。この距離計は、次の規格に基づく、クラス2レーザーです。
 ・IEC60825-1:2014「レーザー製品の放射安全性」
 ・JIS C 6802:2014「レーザー製品の安全基準」
 レーザークラス2/II製品:
 レーザービームをのぞき込んだり、他の人に向けたりしないでください。
 通常は、まばたきを含む嫌悪反応により、目が保護されます。








電磁環境適合性 (EMC) 「電磁適合性」とは、電磁放射や静電気の放電がある環境で、機器が円滑に機能する性能を有し、また、他の機器に電磁干渉を与えないことを意味します。本機は、最も厳しい規格および規制の条件に適合していますが、他の機器に干渉を及ぼす可能性があります。このような場合は、お互いを遠ざけた状態で本機を使用してください。

責任の範囲

管理者の責任 管理者は、この機器を使用する全ての使用者が、取扱説明書に従って使用されるように徹底してください。また、管理者はこの機器の使用に際しての安全について、説明、研修する責任もあります。

事故防止のため、現地の安全規則を熟知し、機器の安全が損なわれていると判断した場合、すぐにフリーダイヤルへご連絡ください。

安全上のご注意

 強制	<ul style="list-style-type: none"> ■ 必ずこの取扱説明書を読んでからご使用ください。 ■ 安全な測定環境を確認し使用してください。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取扱説明書で禁止されている方法、範囲外で使用しないでください。 製品が正しく理解されずに使用された場合、人的、物的および環境的損害をもたらす場合があります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 光学器具で直接レーザー光を見ないでください。 望遠鏡やルーペなどでレーザー光を直接見ると危険です。 ■ レーザー光を直接のぞかないでください。 ■ 別売のレーザーグラス・ハードグラスを使用してレーザー光を直接のぞかないでください。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ レーザー光路は目の高さを避けてください。 ■ レーザー光路に立ち入らないようにしてください。 ■ レーザー光路に反射物を置かないでください。 ■ レーザー光を他の人に向けしないでください。 ■ 幼児や子供の手の届く場所には保管しないでください。 レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。障害が疑われる場合は速やかに医師の診断を受けてください。
 警告	<ul style="list-style-type: none"> ■ 絶対に分解や改造をしないでください。 本機を分解すると故障、感電の原因となります。 ■ 異常を感じたら本機を絶対に使わないでください。 すぐに使用を中止して、お求めの販売店、またはフリーダイヤルにアフターサービスの問い合わせ・依頼をしてください。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ はしごを使用している場合や、稼働中の機械の近く、保護されていない機械、設備の近くなどで測定する場合に、故意または無責任な行動をとらないでください。 建設現場、工場、道路上では測定スペースを十分に確保し、安全対策を講じた上で使用してください。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本機および乾電池を家庭ごみと同様の扱いで廃棄しないでください。 本機および使い切った乾電池を廃棄する場合、各自治体の規定に従って適切に廃棄してください。必ず本機を使用する権限のない人の手に渡らないようにしてください。 ■ ストラップだけを持って製品を振り回さないでください。 ■ ストラップが破損したまま使用しないでください。 製品の落下による衝撃、破損により本機の性能と安全性を保証できません。

使用上のご注意

注意	強制	■ 本機に不具合がある場合、または落としたり、誤った使用をした場合は、距離が誤測定される可能性があります。 定期的に試験測定を行い、精度を確認してください。特に重要な測定の前 後や測定中には試験測定を行ってください。また本機のレンズは清潔に 保ち、本体に大きな機械的損傷がないことを確認してください。
	強制	■ 本機は制御装置ではなく、測定センサーとして使用してください。 本機を距離の測定や、クレーン、建設機械、プラットフォームなどの動い ている物体の位置の確定に使用している場合、予測しない事態により、誤 測定が起る場合があります。
	禁止	■ 使用・保管温度範囲外で使用しないでください。 ■ 直射日光下や湿度の高い場所、急激な温度変化のある場所では 使用しないでください。 ■ 結露したまま、本機をお使いにならないでください。 結露が確認されましたら、電源を入れずに結露が取れるまで放置してくだ さい。その後電源を入れれば正常に作動します。 ■ 濡らさないでください。 本機に防水性能はありません。故障の原因となります。 ■ ディスプレイには物が当たったりしないように使用・保管してください。
	強制	■ 必ず専用の距離計アクセサリを使用してください。 タジマ (TJMデザイン) で取り扱う製品以外のアクセサリを使用した場合、 本機の性能と安全性を保証できません。 ■ 使用しない場合は乾電池を取出してください。 ■ 新旧および種類の異なる電池は混用しないでください。 乾電池から液が漏れ出して、故障の原因となる場合があります。

お手入れ・保管について

- レンズが汚れた場合は、市販のレンズクリーナーで拭き取ってください。
- 本体の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。シンナーなどの溶剤では絶対に拭かないでください。
- 必ず専用の収納ケースに入れて保管してください。
- 収納ケースが傷んでいたら、使用しないでください。本体が落下してケガをする恐れがあります。

精度確認方法

- 製品を誤って落としたり、何かにつけてしまった場合
- 正しい環境下で使用しても精度が気になる場合
下記の手順で精度の確認をしてください。

1. 屋内の柱間など距離が変化しない場所で、1~3m程度の距離を決めます。
 - ・測定対象の表面は白い柱(壁)で平坦であること。
 - ・周囲に強い光はないこと(窓際や照明の近くは避ける)
 - ・室温20°C~25°C
2. 1.で決めた場所の距離を10回続けて測定します。
3. 結果をお持ちのコンバックスや巻き尺と比較してください。

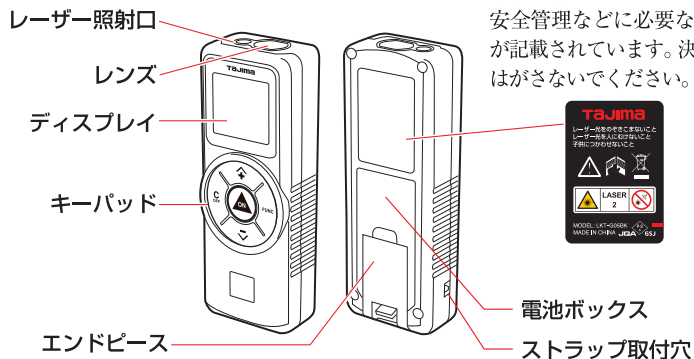
☞ 精度が許容範囲内(±2.0mm)であれば問題ありません。

☞ 許容範囲外の場合、「アフターサービスのご提供について(重要)」
ページをよくお読みいただき、弊社フリーダイヤルへご連絡ください。

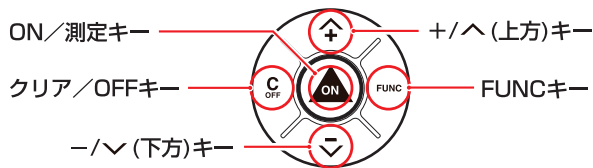
免責事項

- 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対しては、当社は一切責任を負いません。
- 本機の精度確認を怠ったことによって生じた付随的な損害(事業の利益の損失・事業の中断など)に対して、当社は一切責任を負いません。
- 火災・地震・第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。

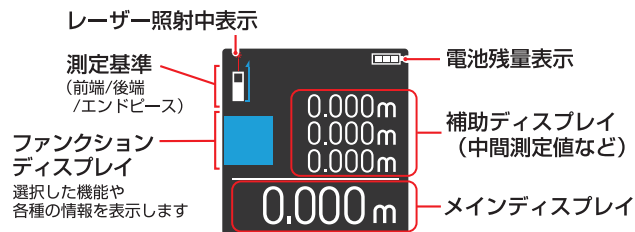
各部の名称



キーパッドの名称



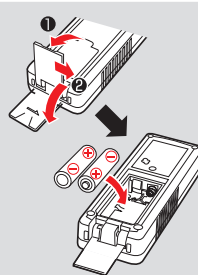
ディスプレイの名称



はじめに

警告

- このアイコンが点滅している時は、レーザー光が照射されています。
- レーザー光を直接のぞかないでください。
 - レーザー光を他の人に向けしないでください。レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。



電池の入れ方

- ①エンドピースを90°の止まる位置まで開きます。
- ②エンドピースを左図②の→右方向にずらしながら180°の止まる位置まで開きます。
- ③電池ふたを取り外し、電池ボックスに単4形アルカリ乾電池を2本正しく入れてください。
- ④電池フタを閉めます。

エンドピースは①0°(閉じた状態)②90°③180°の何れかの位置でお使いください。

注意

エンドピースを開く際は、イラスト②の方向にエンドピースをずらしながら開いてください。無理に開こうとすると破損の原因になります。

電源のON/OFF

ON: ON/測定キーを押します。画面にタジマロゴが表示され、直後にレーザー光が照射されます。30秒何も操作しない間、もしくはもう一度ON/測定キーを押すまで、電池残量アイコンが表示されます。

OFF: クリア/OFFキーを長押しします。

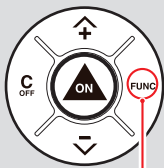
操作しない状態が30秒続くと、レーザー光がオフになります。その時点から更に150秒後には機器の電源が自動的にオフになります。

電池残量について

本機を使用していると次のように電池残量表示が変化します。



電池残量が少なくなると④の表示となり、さらに消耗すると測距できなくなります。この場合は単4アルカリ乾電池2本を同時に新品へ交換してください。



FUNCキー



<機能選択画面>

測定基準

測定基準は本体後端に設定されています。前端に変更したい場合は

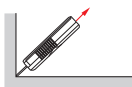
- ① FUNCキーを1回押し、機能選択画面にします。
- ② 左右キーで画面をスクロールさせ、01 を選択し、ON キーで確定します。
- ③ 左右キーで↑前端もしくはは後端↑を選択し、ON キーで確定します。



👉 エンドピースを下図Aのように伸ばすと基準位置はエンドピースの後端に自動的に切り替わります。

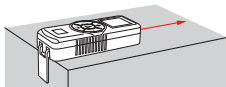
A. 伸ばしたときは・・・

窓枠や部屋の内角、サッシの凹みなどからの測定が可能です。



B. 90°位置で固定する場合は・・・

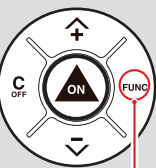
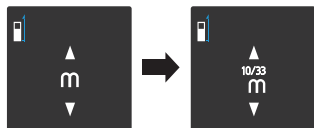
柱などに引掛けて測定する場合に便利です。



測定単位

初期設定は「0.000m」となっています。これを尺相当「0.000 10/33m」に変更することができます。

- ① FUNCキーを1回押し、機能選択画面にします。
- ② 左右キーで画面をスクロールさせ、02 を選択し、ONキーで確定します。
- ③ 左右キーで01 を選択し、ONキーで確定します。
- ④ 左右キーで を選択し、ONキーで確定します。
- ⑤ ディスプレイに10/33m単位が表示されます。



FUNCキー

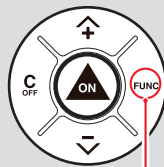


<機能選択画面>

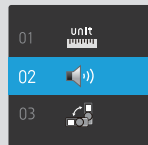
👉 面積、体積の計算結果はm単位「m²」「m³」となります。

⚠️ 注意

電源OFFして次回使用する場合にも、その直前に使用していた単位が表示されます。使用単位を間違えないようにしてください。



FUNCキー

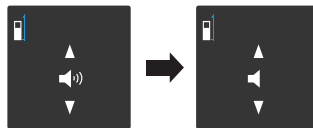


<機能選択画面>

操作音

初期設定は音が出る状態です。音を出さずに使用することもできます。

- ① FUNCキーを1回押し、機能選択画面にします。
- ② 左右キーで画面をスクロールさせ、02 を選択し、ONキーで確定します。
- ③ 左右キーで02 を選択し、ONキーで確定します。
- ④ 左右キーで (音あり) ⇒ (音なし) を選択し、ONキーで確定します。



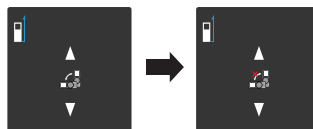
⚠️ 注意

電源OFFして次回使用する場合にも、その直前に使用していた設定が維持されます。消音モード時、レーザーが照射されたままとならないように注意してください。

回転ディスプレイ

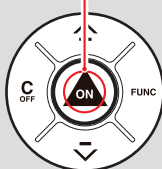
初期設定は使用の向きにより自動的にディスプレイの表示が回転します。回転をOFFにして固定することも可能です。

- ① FUNCキーを1回押し、機能選択画面にします。
- ② 左右キーで画面をスクロールさせ、02 を選択し、ONキーで確定します。
- ③ 左右キーで03 を選択し、ONキーで確定します。
- ④ 左右キーで (回転) ⇒ (固定) を選択し、ONキーで確定します。



測定

ON/測定キー



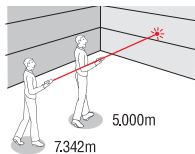
距離測定(単回)

- ① ON/測定キーを押して、レーザーをオンにします。
- ② レーザー光で距離を測定する対象物を狙って、ON/測定キーをもう一度押します。
- ③ 測定された距離が表示されます。過去4回測定した値(距離)を同一画面で確認することができます。



連続測定

- ① ON/測定キーを長押しします。連続測定モードに切り替わりリアルタイムの距離を赤数字で表示します。測定物まで近付いたり離れたりする場合の任意の距離を確認する際に便利です。

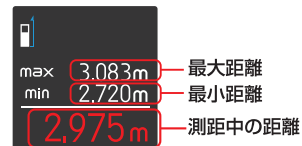


- ② ON/測定キーをもう一度押すと、最後の測定値がメインディスプレイに表示されます。



最大/最小(max/min)

連続測定時、ディスプレイにmax.とmin.の表示がされます。これは連続測定時の最大距離、最小距離を表示します。



下図のような測定時に便利です。
☞ 測定箇所をなぞるように計測してください。

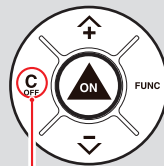
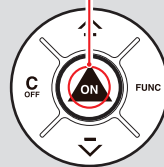
内角の測定には「max」 水平(最短距離)の測定には「min」



クリア(消去)

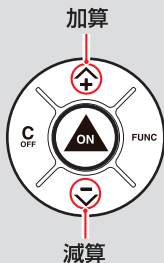
- クリア/OFFキーを押して、最後の入力や測定値を消去します。
☞ 計算機能(面積/体積、加算/減算)などを使用している場合は、測定値を1件ずつ、段階的に消去でき、再測定できます。
☞ FUNCキーの各機能選択時には「距離測定」画面に戻ります。

ON/測定キー



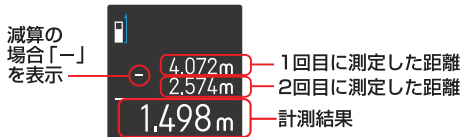
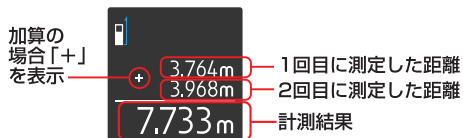
クリア/OFFキー

加算／減算



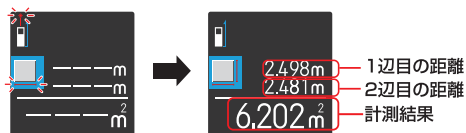
- ① 一つ目の距離を測定します。
- ② 加算の場合は \uparrow キーを一度押し、次の距離を測定します。この時、ディスプレイには「+」表示がされます。
- ③ 減算の場合には \downarrow キーを一度押し、次の距離を測定します。この時、ディスプレイには「-」表示がされます。

②③の処理は、必要なだけ何回でも繰り返すことができます。



面積

- ① FUNCキーを1回押し、機能選択画面にします。
- ② \leftarrow キーで画面をスクロールさせ、03 \square を選択し、ON キーで確定します。
- ③ 面積アイコンがディスプレイに表示されます。
- ④ ONキーを押します。レーザーが照射され、測定する辺が点滅します。
- ⑤ 「長さ」と「幅」を測定します。
- ⑥ 結果がメインディスプレイに表示されます。

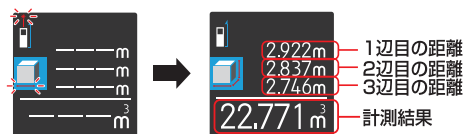


注意

面積の測定結果はm² (平方メートル) 表示のみです。10/33m換算値で距離測定してもm²で結果表示されます。

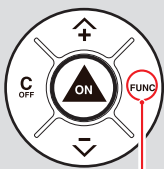
体積

- ① FUNCキーを1回押し、機能選択画面にします。
- ② \leftarrow キーで画面をスクロールさせ、04 \square を選択し、ONキーで確定します。
- ③ 体積アイコンがディスプレイに表示されます。
- ④ ONキーを押します。レーザーが照射され、測定する辺が点滅します。
- ⑤ 「長さ」、「幅」、「高さ」を測定します。
- ⑥ 結果がメインディスプレイに表示されます。

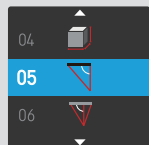


注意

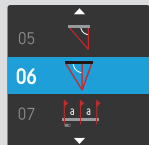
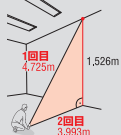
体積の測定結果はm³ (立方メートル) 表示のみです。10/33m換算値で距離測定してもm³で結果表示されます。



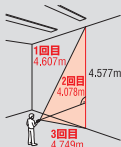
FUNCキー



<機能選択画面>



<機能選択画面>



ピタゴラス機能

ピタゴラスの定理を利用して間接距離を計算によって算出することができます。

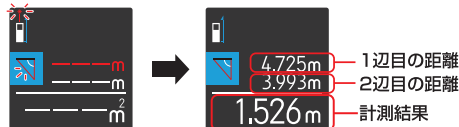


注意

推定距離を算出する機能です。
実測値とは異なります。

ピタゴラス1…2点を使った測定

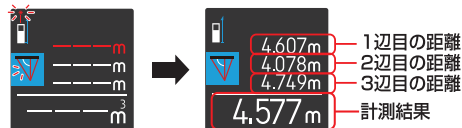
- ① FUNC キーを1回押し、機能選択画面にします。
- ② \leftarrow キーで画面をスクロールさせ、05 ∇ を選択し、ON キーで確定します。
- ③ ピタゴラスアイコン(2点)がディスプレイに表示されます。
- ④ ON キーを押します。
レーザーが照射され、測定する辺が点滅します。
- ⑤ 「斜辺」と「直角辺」を測定します。
- ⑥ 結果がメインディスプレイに表示されます。



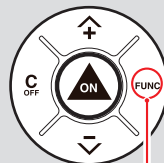
測定長さが正しくない場合 Σ が表示され、③の画面にリセットされます。

ピタゴラス2…3点を使った測定

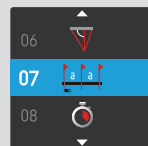
- ① FUNC キーを1回押し、機能選択画面にします。
- ② \leftarrow キーで画面をスクロールさせ、06 ∇ を選択し、ON キーで確定します。
- ③ ピタゴラスアイコン(3点)がディスプレイに表示されます。
- ④ ON キーを押します。
レーザーが照射され、測定する辺が点滅します。
- ⑤ 「斜辺1」と「直角辺」を順番に測定します。
- ⑥ 結果がメインディスプレイに表示されます。



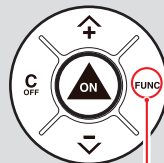
測定長さが正しくない場合 Σ が表示され、③の画面にリセットされます。



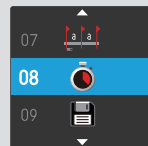
FUNCキー



<機能選択画面>



FUNCキー



<機能選択画面>

ステイクアウト (ピッチ測定) 機能

入力した値の倍数との残差を「数値」と「アラーム」でお知らせします。割付をする際に便利です。

- ① FUNC キーを1回押し、機能選択画面にします。
- ② \leftarrow キーで画面をスクロールさせ、07 ∇ を選択し、ON キーで確定します。
- ③ ステイクアウトアイコンがディスプレイに表示されます。
- ④ \leftarrow キーで a の値(設定したいピッチ幅)を変更します。
- ⑤ ON キーを押します。
- ⑥ レーザーが照射され、2列目に実際の測定距離が表示されます。メインディスプレイに、④で設定した値の倍数との「残差の距離」が表示されます。
- ⑦ ④で設定した倍数の前後 0.050m (=5cm) では警告音でもお知らせします。
- ⑧ もう一度 ON キーを押すとその時点での結果を表示します。

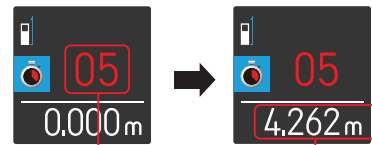


この場合は 4.000m(0.500m×8) との残差を表示します。

タイマー

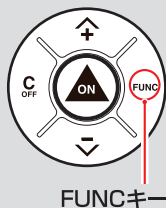
実際に距離を測るまでの時間を任意に設定できます。
ONキーを押すときの手ブレを防止することができます。

- ① FUNC キーを1回押し、機能選択画面にします。
- ② \leftarrow キーで画面をスクロールさせ、08 \odot を選択し、ON キーで確定します。
- ③ タイマーアイコンとカウントダウン値がディスプレイに表示されます。
- ④ \leftarrow キーでカウントダウン値(秒)を変更します。
- ⑤ ON キーを押します。④で設定した値をカウントダウン後に測定します。

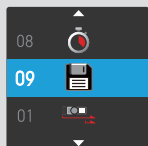


カウントダウン値

カウントダウン後に測定した距離



FUNCキー

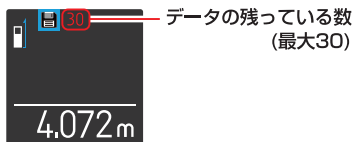


<機能選択画面>

測定値自動記憶

最新の測定結果以前の記録を30件呼び出すことが可能です。故意の値を保存することはできません。

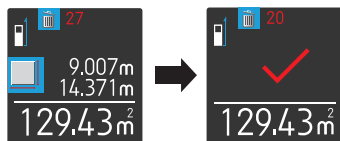
- ① FUNC キーを1回押し、機能選択画面にします。
- ② キーで画面をスクロールさせ、09 を選択し、ON キーで確定します。
- ③ 過去の測定結果がディスプレイに表示されます。直近の結果が一番大きい数字(最大30件)で表示されます。
- ④ キーで 30→29→28→27・・・とより古い結果を表示させることができます。



<データを消去する方法>

- ⑤ 消去したいデータを①～④を行い、画面に表示させます。
- ⑥ C/OFFキーを1回をすと (ゴミ箱) が表示されます。
- ⑦ ONキーを押すと画面に✓が表示され、そのデータを消去します。

1件ずつのデータ消去のみです。まとめたデータの消去はできません。



<距離の測定結果は呼び出した値を使用できます>

使用できる測定結果：
距離測定(単回) / 連続測定 / ピタゴラス / タイマー

- ⑧ ①～④の方法で測定データを呼び出す。
- ⑨ ON/測定キーを1回押し。
- ⑩ ⑧のデータが復帰し、そこから加算/減算を行うことができます。

仕様

測距精度 ※1 (測距に適さない環境下) ※2	±2.0mm ※3 ±3.0mm ※3
測距範囲 ※1 (測距に適さない環境下) ※2	0.1m～50m ※4 0.1m～40m ※4
表示単位	m ⇄ 10/33m (尺相当換算)
最小表示値	0.001m(=1mm) ⇄ 0.001 10/33m
レーザークラス	クラス2
レーザー波長、出力	635nm、<1mW
レーザースポット径	約6.0mm/10m 約30mm/50m
自動レーザーオフ	30秒後
自動電源OFF	180秒後
バックライト	○
連続測定	○
加算/減算 (+/-)	○
面積測定	○
体積測定	○
ピタゴラス測定	○(2種類)
電池寿命(アルカリ乾電池使用時)	最大7,000回まで
防塵・防水性能	IP40
外形寸法	117×44×26mm
重量(アルカリ乾電池含む)	115g
使用温度範囲	0℃～40℃
保管温度範囲	-10℃～65℃

- ※1～3 ISO 16331-1に基づき、それぞれ以下の条件下で適用されます。
- ※1 測距に適した環境下：反射率100% (白く塗装された壁)、周囲に強い光がないこと、適温時。
- ※2 測距に適さない環境下：反射率が低いターゲット、周囲に強い光がある、高温や低温時。
- ※3 公差は95%の信頼性で0.1m-10mで適用されます。
測距に適した環境下では最大測定公差は10mから30mで0.1mm/m、30m以上で0.15mm/m悪くなる場合があります。
測距に適さない環境の場合、最大10mから30mで0.15mm/m、30m以上で0.2mm/m悪くなる場合があります。
- ※4 最短距離0.1mは測定基準を前端とした場合です。
- 改良のため予告なく仕様・外観を変更する場合があります。




国際標準化機構規格
ISO 16331-1 適合品

こんなときは…

問題	原因	処置
ON/測定キーが反応しない	衝撃を受けた後のハードウェアの保護	電池を一度外して入れなおす
	電池残量が少ない	新しい電池に入れ替える
	ON/測定キーの押し方が弱い	ON/測定キーを強く押す
連続測定モードにできない	ON/測定キーを押す時間が短い	ON/測定キーを1秒以上長押しする
測定可能距離が短くなる または 精度誤差が大きい	測定対象が測距範囲外	測距範囲内で測定をする
	測定対象からの反射が不適切 (反射が強すぎる又は弱すぎる) 例) ■測定面が濡れている場合や、金属面のように平滑または光沢がある場合 ■測定面が黒色や濃紺、深緑などの濃い色の場合 ■測定面が布や織物の場合 ■測定面にガラス、アクリル板など透明度がある場合 ■測定面に傾きや曲面がある場合 ■測定対象がレーザースポットに対して小さすぎる	測定ターゲットの表面を変更する 例) 白い紙をあてがう、 ターゲットプレート 品番: DISTO-TPL (別売) を使用するなど
	周囲の光が強すぎる	測定対象に何らかの覆いで陰を作る
	使用・保管温度が高すぎる、低すぎる	使用温度範囲で少し経ってから使用する

☞ 各処置を行っても症状や精度誤差が改善しない場合はフリーダイヤルへご連絡ください。

問題	原因	処置	
ピタゴラス測定ができない	 計算エラー	正しい長さ、順番での測定ができていません。(P.15参照) 初めから測距をやり直してください。	
メッセージコードが表示される	252	温度が高すぎる	距離計の温度を下げてください
	253	温度が低すぎる	距離計の温度を上げてください
	255	受信シグナルが弱すぎる 測定時間が長すぎる	ターゲットプレート(別売)を使用してください 例) 白い紙をあてがう、 ターゲットプレート 品番: DISTO-TPL (別売) を使用するなど
	256	受信シグナルが強すぎる	
	257	誤測定 周囲が明るすぎる	
	258	測定範囲外	測定可能範囲で測定してください
	260	レーザーが遮断されました	測定をやり直してください

☞ 上記以外のメッセージが表示された場合、電源のON/OFFを繰り返し行っていただき、同じメッセージが表示されるかチェックしてください。同じメッセージが表示される場合はフリーダイヤルへご連絡ください。

■ 材料を加工する際の寸法確認にご使用される場合

本製品の測距精度は±2.0mm(P.19 ※1測距に適した環境下)となっています。材料の寸法が短くなってしまうことを避けたい場合は、測定結果に余分の長さをプラスしてお使いいただくことをお勧めします。

☞ 個々の製品で機差が異なります。常に長すぎる場合は余分を差し引いてお使いください。

